

17. 何故海は夜叫ぶのか(タガログ)

昔々、すてきな海の神ナビが海を治めていました。海底王国のすべての美しい女性は、彼の愛と注意を引こうとして競いましたが、ナビは、さんご王国の美しい王女だけを見ていました。

ナビは、美しい王女に求愛し、彼らはずいぶん威厳ある儀式の中で、結婚し、それには海のすべての人々と生き物が参加しました。海の神と彼の新婦は共に大変幸せでした。かれらは、3人の美しい娘たちを得て、一層幸せになりました。彼らの名前は、ムンティア(ダイヤモンドという意味)と、ブロン(黄金という意味)そして、ティパイ(真珠という意味)でした。

ナビと美しい妻と、彼の3人の美しい娘たちは、幸せに海の下で何年も暮らしました。なぜなら、彼は、自分の時間を家族のために使えて、ナビは彼の足と目を、海の床にしっかりと置いていたからです。しかし、ある夜、彼の家族がみんな寝ている時、ナビはたまたま、海の上にある空を見上げました。夜空の高い所に、愛らしく輝く、夜の星の乙女を見て、魅了されていました。彼はそれまで、そんな魅了される星の乙女を見たことがありませんでした。

数日間過ぎて、ナビは落ち着かなくなり、混乱し、怒りっぽくなりました。彼は挑発的な夜の星の乙女に恋に落ち、一晩中彼女の所に留まりました。同時に、彼には愛する妻と三人の素晴らしい、かわいらしい娘がいるので、罪意識を感じながら。しかし、ナビは、夜の星の乙女への思いを断ち切ることができず、すぐに彼の食事をやめて、深い落ち込みになり、大変な病気になりました。

ナビの妻は、夫を大変愛し、彼の横に座り、幾日も幾夜も彼の手を握っていました。彼女の夫が相変わらずであることがわかった時、彼女は、何が彼を病気にさせているのか、そして彼を落ち込ませているのか、告げてくれるように頼みました。ナビが何を言っても、彼女は怒らない、と約束しました。

そこで、ナビは妻に、夜に見た素晴らしい光景と、愛しい夜の星に恋してしまったことを告げました。もちろん、彼の妻は、夫が他の女性のことを考えていることに憤慨しましたが、約束を守り、何も言わず、彼女の感情は、深い心の内側に留まっています。ナビは彼をいやす唯一の治療薬は、彼の恋人と夜の天で、いくらかの時間を過ごすことである、と説明しました。彼の妻は大変悲しみ、

彼女の心は、痛みに刺し貫かれました。それにしても、彼女は夫の希望に同意して、彼の病気を治す唯一の方法だと悟ったのでした。ナビは、一年のうち、1ヶ月だけ彼の新しい恋人と過ごし、一年の残りを妻や3人の娘たちと過ごすのです。

その夜、ナビは、夜の星の輝く乙女に会うために、夜空への旅の準備をしていました。彼の妻は出てゆく彼を見送るのは悲しいことでしたが、じっと感情を抑えて、夫が彼女から泳いで海面に向かうのを見ていました。

ナビは夜空に着き、彼の愛する夜の光景、明るい夜の星を見つけました。海の神が海底の王国を出て、彼女に会いにきたので、星の乙女は誉めそやされ、すぐに彼に結婚してくれるように頼みました。ナビは非常に喜び、星の乙女の結婚の申し込みを、一も二もなく受け入れました。しかし、彼の約束を守って、海の下で家族のところへ帰る前に、新しい妻のところに1ヶ月だけ留まりました。彼は星の乙女に、一年で帰ってくると約束しました。

ナビは海の下で、家族の所へ帰ったので、彼を見て彼女たちは大変幸せでした。しかし、彼が美しい妻と三人の美しい娘たちを愛しているけれど、ナビは、愛しい星の乙女への思いを、取り除くことはできず、彼女の元へ帰る日が待ちきれませんでした。

1年過ぎて、ナビは、愛してくれている家族と別れを告げて、彼の第二の妻、星の乙女のいる天に向かって出発しました。しかし今回は、ナビは、妻との約束を破って、星の乙女と、1ヶ月ではなく、2ヶ月過ごしました。次の年、ナビは、海底の家族の所へ帰る前に、3ヶ月星の乙女と過ごしました。次の年には、4ヶ月星の乙女と過ごし、などなど、続いていったのです。

ついに、ナビは海の下で家族の所へ帰ってこないことが明らかになりました。彼の美しい妻と三人の娘たちは何年も待ち、海の神が帰ってくるように祈りましたが、ナビはもう帰ってきません。彼は彼女たちは完全に捨てて、彼の家族は、落胆し、胸が張り裂けるような思いになりました。

毎晩、海の底から、美しい妻と彼女の三人の娘たちは夜の月や星たちを見上げて、泣き始め、ナビに、家に帰るように呼びかけるのです。彼女らの涙と嘆きはとても強く、海の王国は揺れて、震え、彼女らの上の海の表面は、大きな波が起こっていました。妻と娘たちは徹夜の祈りを諦めず、泣き叫んで、呼びかけ、海の下で永遠に嘆いているの

フィリピンの神話と伝説
です。

毎晩、ずっと今まで、波が浜辺で砕け、風が海を横切って吼える時、あなたは、悲しむ妻と彼女の三人の娘たちが、彼女たちの愛する方に、海の正当な彼の家に帰ってくれるように今でも呼びかけ、泣き悲しんでいるのです。そしてもし、あなたが良く見るなら、あなたはまだナビの絵人の娘、ムンティア(ダイヤモンド)と、プロワン(黄金)、そして、ティパイ(真珠)が、彼女たちの乳が帰ってくるように待って、海の表面の真下に輝いているのが、今も見えるでしょう。